
救世主

未来ミク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

救世主

【Nコード】

N5723Z

【作者名】

未来ミク

【あらすじ】

普通の日常生活を送る主人公だったが、ついに決起する

夜はいい。心が落ち着く。そしてドキドキもする。
しかしあまりに静かだ。

24時間活動する時代なのに静かすぎる。

夜空の下、空気が不安な意思を帯びて包んでいる。

悩みや不景気による気の重さや活動の停止を感じた。

解決する立場に身を置いているのかというと、自費出版で意見を述べるか、政治家にでもならないとダメなような気がしていた。

科学者が第一だった。そう。たしかに。

数学、物理、化学、英語。

挫折した。カリスマ性を失うようでも同じ悩みの方のために打ち明けねばなるまい。

が、これは勉強を面白いと感じなかったからの結果だ。

面白く来れてたら今頃他の誰よりもできるようになっていたはずだ。勉強が苦痛だから一生できるようにならないという絶望と、やればできるという希望を含んでいた。

全力は出していない。

さてこれから何をしようか。

パチンコ店はもう閉まってるし、マンガ喫茶か、ひとりでカラオケか、ファミレスで食事をとりながらコンビニで買った新聞や雑誌を読もうか。

本当ならどれも楽しいはずなのに、今は何に対してさえも乗り気でないのだ。

もともとパチンコなんてするお金はないのだ。

マンガ喫茶にしたって3時間パックが1000円は高い。なにしろすぐに眠ってしまうのだから実際に読む時間は数十分だ。

レストランはというとなぜか食事の他にビールを頼まないとくつろげないような気がするので別の機会にしよう。

そうして外出したい気持ちはあったが自宅に入った。
この家だってもうすぐ金を払う人がいなくなる。
いそがねばならない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5723z/>

救世主

2011年12月19日01時51分発行